

# 心の輪22R



『**軽いやさしさ**』という資料を通して、

『**思いやり**』について考えました！



これまで『思いやり』というのは、『感謝をしてもらうのが当たり前』だと思っていたが、その考え方のままだと、やがて感謝をしてもらいたいが為に思いやりをするのではないかと思った。自分は、そうではなくて、『軽いやさしさ』ができる人になりたい。

思い遣りは、相手が受け止めてくれる程、良いやさしさじゃないといけないんだなと思いました。でも、その程良さは人によって違うので、そこを気を付けながら、これからは思い遣りを持って行動しようと思います。

『軽いやさしさ』は、『思いやられた方が自分を責めず、素直に感謝できるやさしさ』だと思った。私も、思いやりが相手に受け取ってもらえるように、『あたたかな思い』を持とうと思った。

どんなに小さなことでも、思いやりを持って行動することが大切だということが分かりました。また、思いやられた方も、それをしっかり受け取って、感謝をしていかないといけないと思いました。



## 心の送受信

「おもいやり」を漢字で書くと「思い遣り」。  
 「遣る」には「さしむける」「おくり届ける」といったニュアンスがある。つまり「おもいやり」は相手に「思い」を「さしむけ」たり「おくり届け」たりすることから生まれた言葉だ。でも「届ける」以上は、相手に受け止めてもらわなければ「おもいやり」は成り立たないことになる。  
 だからといって、何も押し付けるわけではない。相手の心に伝わればよい。  
 あたたかな「思い」が伝われば、その「思い」は、またあなたにもどってくる。  
 「思い」が伝わりあえば、互いをつなぐ絆も、太く、強くなる。  
 「おもいやり」の送受信は、人と人との信頼を深める。

『中学生の道徳2 自分を考える』  
 (出版：あかつき) P.91 より引用

私の周りには、やさしさをくれる友達がたくさんいます。でも、その人たちがくれるやさしさは、私が感じている以上にたくさんあるんだろうなと思いました。だから、これからは、みんなの『軽いやさしさ』にも気付いて感謝できるようになりたいです。

この時間を通して、やさしさには、さりげない自然な行動と、相手に負担をかけるような、押し付けがましい行動の2つがあるということが分かりました。『思いやり』とは、相手に押し付けるものではなく、相手の心に伝えるものだということ学びました。